

## 2018 年度事業報告書

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

認定 NPO 法人アカツキ

### 事業の成果と実施に関する事項

#### ①非営利団体・市民団体及び社会的企業等を対象とした、対話と議論を共に育む

##### コンサルティングと、その技術を社会に広く展開するための販売事業

寄付集めキャンペーンや中期計画の策定、会計処理のルールづくりのための話し合い等を通じて、クライアント組織の中でメンバー間同士の新しい一面を発見し、異なる意見をオープンにぶつけ合うことができた。それによりスタッフの発言や主体的行動が増える等の現象が起きた。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
ファンドレイジング・NPO 法人事務・内部コミュニケーションに関する伴走型コンサルティング支援	通年 約 180 回	福岡県 佐賀県 三重県	2 人	NPO 9 団体 企業 1 社	3,218,447

#### ②市民社会を担う人材及び団体の育成にかかるセミナー・研修・ワークショップ等の

##### 実施とともに、互いに支え合うコミュニティを構築する事業

県外からの依頼が増え、アカツキの「ファンドレイジングは参画機会の提案」という価値観や、そのための事務やコミュニケーションの重要性を広めることができた。NPO 法 20 周年フォーラムでは、元参議院議員堂本氏やシーズ松原氏の話の波及効果が大きく、貴重な記事資料も完成した。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
ファンドレイジング・NPO 法人事務・行政との協働に関するセミナーやワークショップの開催・講師登壇	通年 約 30 回	福岡県 愛知県 宮城県 兵庫県 宮崎県 熊本県 東京都	2 人	NPO 法人の運営に携わる理事・会員等約 1,000 人	1,093,403
NPO 法制定 20 周年記念フォーラム in 九州の開催	2018 年 11 月 18 日	福岡市博多区	3 人	NPO 法人の運営に携わる理事会員等約 70 名	667,543
コレクティブスペース「エンガワ」における対話と交流の場づくり	実施せず		0 人	0 人	0

### ③市民活動とそれらを取りまく社会環境の調査・研究及びその成果物の発信・出版事業

休眠預金制度の審議プロセスの不透明性や評価の曖昧さはそのままであるが、指定活用団体の資金活用案の中に「草の根団体」という文言が入ったことは大きな成果だと捉える。会自体は業界団体的利権化を防ぐため解散したが、今後は「評価」に関しての監視と提言が必要になる。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
休眠預金制度に関する全国ネットワークにおける提言書作成・アドボカシー	通年 15回	全国	1人	預金者国民 不特定多数	148,180

### ④市民活動団体の経営を支援するための助成金拠出及びそれに資する財団・企業・自治体等と連携した助成プログラムの開発・改善事業

AKBN ファンド第二期では、税理士の協力と資金提供を得て、新プログラム「会計特化型」を創設し、既存の通常型と合わせて2団体に助成することができた。市民社会創造ファンドからの助成を受け、他助成機関にヒアリングを実施し、審査会や助成対象の見直し支援を行うことができた。

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」による助成金拠出と伴走支援	通年 6回	福岡県 宗像市	2人	NPO2団体	615,272
「立ち止まり対話するための助成金」構造化・横展開事業	通年 13回	福岡県 東京都 愛知県	2人	助成機関3つ	373,886
他助成機関に対するプログラム開発支援	通年 10回	福岡県 東京都 兵庫県 大阪府	2人	助成機関4つ	1,041,100

#### \*事務局

特例認定NPOから認定NPOへ移行することができ、これまで使用できた「寄付者の税額控除」に加えて、団体の法人税を軽減できる「みなし寄付金」制度を活用できるようになったことは、財務上で大きな効果があった。また、経理・総務に関するパート職員を雇用したことで、実務の効率化や正確性の向上と共に、内部研修の実施等、職員間のコミュニケーションの機会を増やすことができた。